補足資料（愛媛県の詳細）

令和４年11月９日
中国四国農政局

作物統計調査
令和４年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量
（愛媛県）

【調査結果の概要】

１　作付面積

令和４年産水稲の作付面積（子実用）は１万3,100ha（前年産に比べ100ha（１％）減少）となりました。

また、主食用作付面積（水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等を除いた面積）は１万3,000ha（前年産に比べ200ha（２％）減少）となりました。

２　作柄概況

穂数は、分げつ期にあたる６月下旬から７月中旬にかけて、気温が平年を上回って推移したことから「やや多い」となりました。１穂当たりもみ数は、幼穂形成期にあたる７月下旬から８月上旬にかけて、気温、日照時間が平年を上回って推移したことから「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×１穂当たりもみ数）は「やや多い」となりました。

登熟は、９月の日照時間が平年を下回っているものの、昼夜温の較差が平年並みで気温が高く推移していることから「平年並み」と見込まれます。

以上のことから、愛媛県の10ａ当たり予想収量は524kg（前年産に比べ14kg増加）と見込まれます。作柄表示地帯別では、東予が520kg（同７kg増加）、中予が547kg（同２kg増加）、南予が505kg（同37kg増加）と見込まれます。

３　予想収穫量

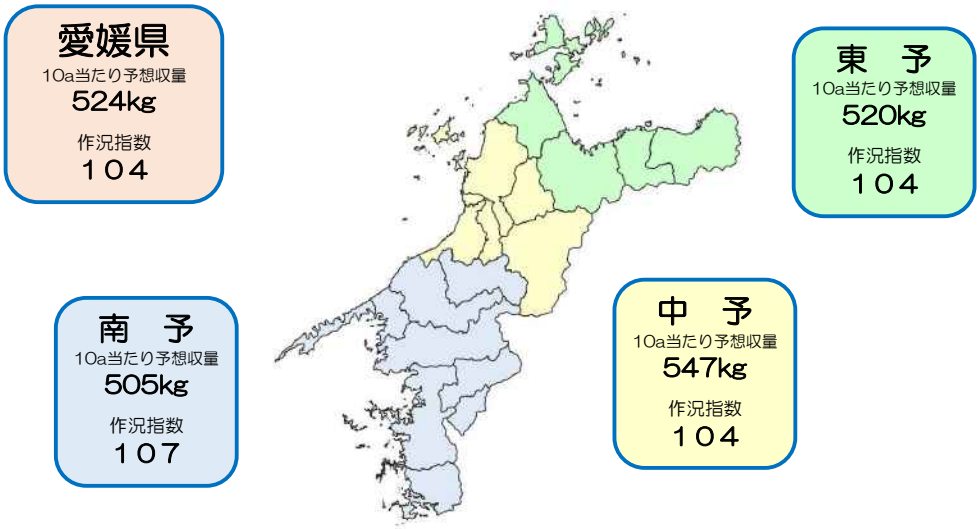
以上の結果、予想収穫量（子実用）は６万8,600ｔ（前年産に比べ1,300ｔ（２％）増加）と見込まれます。

また、主食用作付面積に10ａ当たり予想収量を乗じた主食用の予想収穫量は６万8,100ｔ（前年産に比べ800ｔ（１％）増加）と見込まれます。

４　作況指数

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は104の「やや良」と見込まれます。作柄表示地帯別では、東予が104の「やや良」、中予が104の「やや良」、南予が107の「良」と見込まれます。

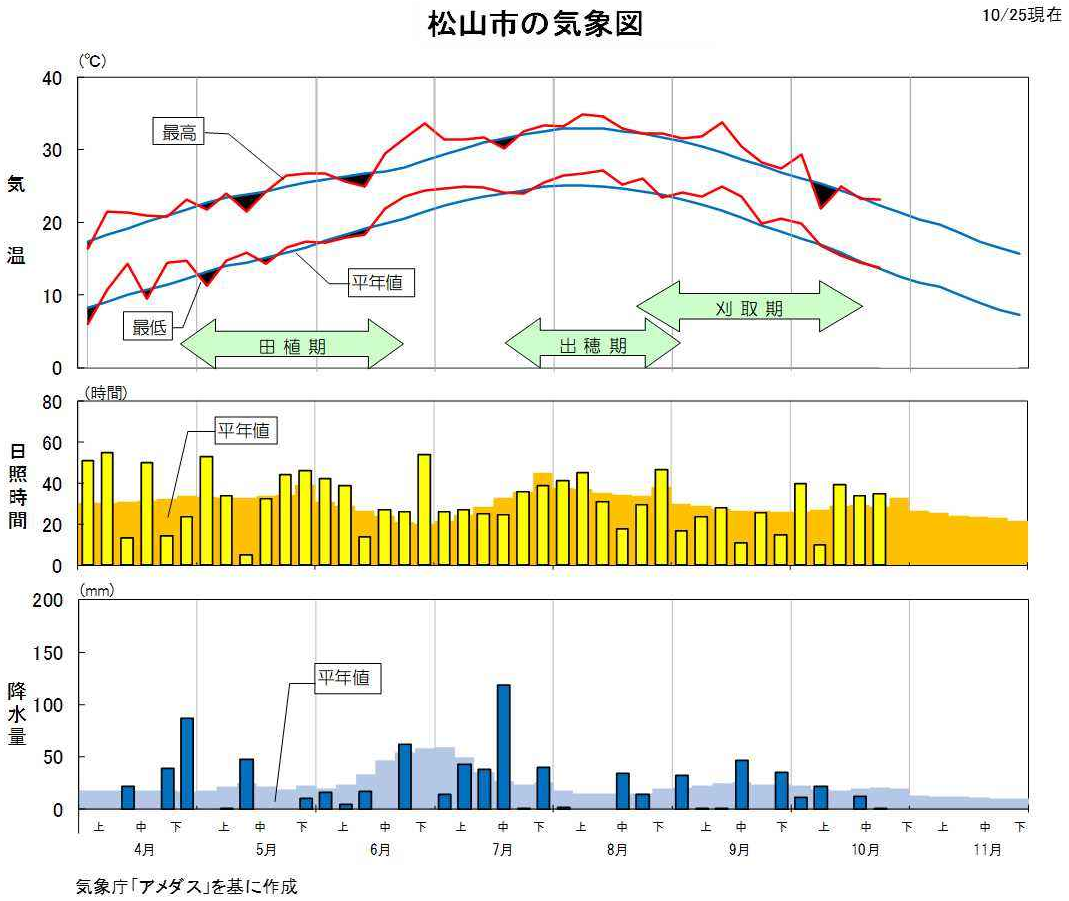
図　作柄表示地帯別10ａ当たり予想収量及び作況指数（10月25日現在）（愛媛県）



◎累年統計表

区　分		作付面積（子実用）	10a当たり収　量	収穫量（子実用）	主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
		ha	kg	t	ha	t	
愛媛県	平成25年産	15,300	493	75,400	15,200	74,900	99
	26	15,000	490	73,500	14,900	73,000	98
	27	14,600	488	71,200	14,600	71,200	98
	28	14,200	508	72,100	14,200	72,100	102
	29	13,900	508	70,600	13,900	70,600	102
	30	13,900	498	69,200	13,900	69,200	100
	令和元	13,600	470	63,900	13,500	63,500	94
	2	13,400	474	63,500	13,300	63,000	91
	3	13,200	510	67,300	13,200	67,300	104
	4（概数値）	**13,100**	**524**	**68,600**	**13,000**	**68,100**	**104**

◎半旬別気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「作物統計調査　令和４年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量（中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局　愛媛県拠点　統計チーム

電 話：089-932-1178　　ＦＡＸ：089-946-2991